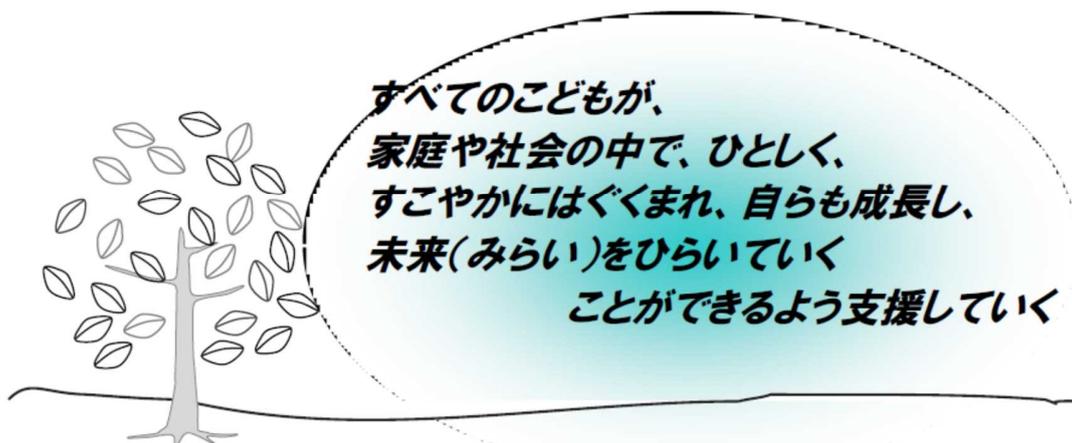


第二次市子ども・子育て支援事業計画の基本理念について

第二次市子ども・子育て支援事業計画を策定するに当たり、その基本理念（基本的な考え方）を定めるもの。

1 現計画の基本理念と考え方（計画書 46 頁）

1 基本理念



子どもは未来を築くかけがえのない存在であり、子どもたちを等しく「すこやかに」育むのは、「笑顔あふれる」家庭、「成長を見守り、助ける」地域社会全体と考えます。

そして子ども自らも、家庭、地域社会とともに考え、成長しながら、将来、家庭はもとより、復興を目指す地域社会を支える人材や国際社会等へはばたく人材となります。

そのための未来（みらい）へつながる施策を推進し、支援していきます。

2 これまでの検討の整理

1 の基本理念と考え方を踏まえ、第二次計画の基本理念について、次のとおり検討を進めてきた。

庁内ワーキンググループ（9月開催）

(1) 主な意見

基本理念については、現計画の考え方を踏襲しつつ、より分かりやすく、伝わりやすい表現とするため、キャッチフレーズ的な文言に変更してはどうか。

(2) 基本理念の案

- ・(案1) みんなで子育て！子どもの笑顔があふれるまち いわき
- ・(案2) こどもまんなか 笑顔と夢が広がるまち いわき

第4回児童福祉専門分科会（10月開催）

○ 主な意見

- ・ 現計画の基本理念に「子どもの現在（いま）を大切に」とあるように、子どもたちの今をどうするかという視点で考えてほしい。
- ・ 子どもが主体で、子どもの自己実現を大人が支えるという形が伝わるものがよい。
- ・ 子育てをする人や子育てを支援する人などの大人の視点で考えているが、子ども自身の意見も取り入れてほしい。



磐城桜が丘高校（11月アンケート実施）

分科会の意見を踏まえ、「子ども・子育て」をテーマに研究する2学年の生徒（17名）を対象とし、1人1つずつ基本理念及びその考え方を提案いただいたもの。

○ 主な意見

- ・ 基本理念には、「みんなで」、「(子どもの) 笑顔」「夢」の文言が多く盛り込まれていた。
- ・ 子育ては一人で行うものではなく、家族・地域のみんまで協力し合っているものという趣旨の意見が多く寄せられた。



【まとめ】

- (1) 分かりやすく、伝わりやすい表現とするため、キャッチフレーズ的な文言とする
- (2) 子どもたちの未来（みらい）に加え、現在（いま）をどうするかという視点も取り入れる
- (3) 子どもを主体とし、それを周囲の大人たちが支えることを意味する文言を入れる
- (4) 子育ては、家族や地域のみんまで協力し、支え合うものであることを表現する

基本理念	考え方
子どもまんなか 笑顔と夢が 広がるまち いわき	<p>○少子化や地域でのつながりの希薄化が進む中、保護者の不安や負担の解消を図るため、家庭や地域全体で支援していく必要がある。</p> <p>○家庭や地域の中には「いつも子どもが『まんなか』にいる」という意識を醸成し、ともに支え合い、将来に向けて、現在（いま）の子どもたちが、「笑顔」にあふれ、「夢」をもつことのできるまちをつくっていく。</p>
みんなで子育て！子どもの笑顔があふれるまち いわき	<p>○「みんなで子育て！」は、親が安心して子どもを産み育てられ、子育ての喜びを実感できるよう、家庭、地域全体で支え合う、子育てのまちづくりを推進する。</p> <p>○「子どもの笑顔があふれるまち」は、現在（いま）の子どもたちが、保護者の愛情を受け、豊かで幸せに育まれていることを表わす。</p> <p>○子どもたちが、自らの可能性を伸ばし、未来に向かって、夢と希望を抱き、自分らしく成長できるよう、子どもの利益を尊重し、個性を最大限生かすことのできるまちづくりを目指す。</p>
あたたかい見守りの中で 笑顔でゆったりと 安心して子どもが育つまち	<p>○子育て家庭の負担や不安が増加している中、地域の「あたたかい見守り」により、保護者が「安心して」子どもを産み育てられ、さらに、子育ての喜びを実感できるよう、あたたかい子育てのまちづくりを推進していく。</p> <p>○家庭や地域の見守りに包まれ、子どもたちが健やかに心豊かに育ち、笑顔があふれるまちを目指す。</p>